



三重県立熊野古道センターからのてがみ

"The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center"

2014.夏号

通号 No.31



世界遺産登録10周年

紀伊山地の霊場と参詣道

参詣道は参詣「ミチ」と読むのか、参詣「ドウ」と読むのかという初步的な疑問に対しても、登録に際して関係者はサンケイミチと呼ぶことに統一するという考え方を提示しました。サンティアゴへの巡礼道を報道する立場の人からは「スペインの場合はサンケイドウですよ」という意見も寄せられましたが、参詣道をどう読むかという細部の問題まで関係者は意見統一していた。したがって、より重要な登録推薦書の作成に当っては調査員の方々の熱心な論議と緻密な作業があったと聞いています。

紀伊山地の豊かさに支えられて、霊場や参詣道の文化的価値があるという指摘を真摯に深めてきたかどうか、10周年を迎える今、点検する必要があります。資産の価値証明では、9～10世紀にかけて仏教の影響が優勢になると説明した後「日本古来の神々は仏教の諸尊が姿を変えて現れたものとする神仏習合の思想が広く流布することとなり、紀伊山地はその聖地としても信仰を集めるようになった」という霊場と参詣道を眺める基本的視点が提示されています。

平成15年1月27日に世界遺産センターに登録推薦書が提出され、平成16年7月にわが国で12件目の世界遺産として登録されましたが、その8ヶ月後の平成17年3月に世界遺産登録推進三県協議会から推薦書の本文と主要な写真・図面をもとに再構成した「世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道」が刊行され、配布された。

この刊行物そのものが、優れた文化遺産と考えていますが、そこに報告されている思想を学び広めていくことが大事と考えています。

「推進資産(紀伊山地の霊場と参詣道のこと)は森林山岳景観により支えられている。」とのイコモス(国際記念物遺跡会議)勧告があります。

これからの世界遺産の保全・保護を考える上で、同書は方向性を確かに提示しています。

古道センターとしても、同書に学びながら、創造的に展開していく努力を継続しなければなりません。



三重県立熊野古道センター長 川端 守



熊野古道からのてがみ

31 通目



番所道から見た須野〜神須ノ鼻

初めて熊野へ来た時に感じた一番強烈な印象は、星の美しさでした。ハクチヨウ座が大きい！翼の先の先まで見えたのは初めてでした。そして見たこともない海の碧さ、山の美しさ、小さいころから住んでいた伊勢は平野で、険しい山や海とは普段は無縁でしたので、感動は一入でした。

今、旅館を営業している場所は七里御浜に面した国道沿いです。部屋から七里御浜を望むことが出来ます。ここは、熊野市と御浜町の境を流れる志原川の河口近くで、橋の無かった頃は、多くの旅人が流され亡くなった浜街道難所のひとつです。

筆リレー

次は 紀宝町の 谷上 嘉一さん

はまだ なおみ 濱田 直美さん (熊野市) ビジネス旅館「潮音」、熊野市観光協会副会長、自然観察指導員、星のソムリエ、グリーンツーリズムインストラクター

寝転がって星を見るのには最高の場所です。古の旅人もこの星空を眺めては、故郷を思っていたのでしょうか。昨年から、熊野市須野町にある遠見番所跡へ行く番所道の整備を有志で始めました。その道は曾根次郎坂太郎坂と繋がり、甫母道へも続きます。最初は、大蔓に行く手を塞がれどう行けばいいかも分からず大変でしたが、多くの人の力をお借りして整備した結果、今では誰もが国道から、三十分程で頂上まで行ける道になりました。頂上の遠見番所跡では、江戸時代に絵師の描いた絵を参考にして、沖行く船を見張り、狼煙を上げたそうです。また役人が暮らした番所や畑の跡も残っています。

花尻 薫からの季節のたより No.31

ハンカイソウ キク科

黄色の花が直径10センチ程の大輪になり、葉が人や動物の手のように切れ込んでいますので、大変目につきやすいキク科の植物です。古くから園芸植物としても栽培されています。

わが国では愛知県から西の本州・四国・九州などの山地の湿った谷や、日当たりの良い野原などに自生しています。日本名のハンカイソウは、大きくて豪快な姿から、中国の漢時代の武将である「樊噲=はんかい」の名前に見立てて名前を付けたと言われていています。



ハンカイソウ

熊野古道沿いでは三木里の名柄や、熊野古道センター付近の村嶋不動滝近くに群生しています。6月から7月前後が見頃です。

江戸時代の有名な植物研究家の小野蘭山(おの・らんざん)は、京都の相国寺の和尚さんが中国から持ち帰って植えたものだとしています。また同じく江戸時代の和歌山県生まれの博物学者(動物や植物・地学などの研究者)畔田翠山(くろだ・すいざん)は、和歌山県内で発見して「世二熊野菊ト云」と書いていますので、江戸時代から注目されていた植物であります。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00
料 金: 中学生以上1,200円
小学生以上700円
4歳~小学生300円
乳幼児無料
60歳以上1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

開館時間: 10:00~21:00
入 浴 料: 一般 600円
65歳以上 500円
4歳~小学生 300円
4歳未満 無料

お風呂あがりには、カフェでゆったり!
営業時間: 9:00~17:00 (カフェラストオーダー 16:30)



●お車でお越しの方は...
国道42号線で尾鷲市内→矢ノ浜南交差点を海側へ曲がる→突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)

●電車でお越しの方は...
■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車
■松阪駅→南紀特急バス「熊野古道センター行」終点下車(約2時間)

★熊野古道センターニュースレター★ “熊野古道センターからのてがみ 2014年夏号”

- 発行日: 2014年6月10日(季刊)
 - 編集・発行: 三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
 - 編集担当: 東
 - 連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com HP http://www.kumanokodocenter.com/
 - 開館時間: 午前9時~午後5時
 - 入場料: 無料
 - 休館日: 12月31日、1月1日 (その他メンテナンス時休館)
- 60000140610MH

夏休みスペシャル体験教室

8/14(木)~8/16(土)

自然素材を使った3日間限定の日替わり教室です。夏の思い出にご家族で楽しいものづくりに参加してみませんか。東紀州に訪れた記念にもなりますよ。

すべて事前申込不要で午後1時からの開催です。

- 日程** 8月14日(木) テレイドスコープづくり(参加料:500円)
8月15日(金) ヒノキでつくる木琴(参加料:500円)
8月16日(土) あなたも木工作家(参加料:100円~)
- 場所** 展示棟
- 講師** 熊野古道センター職員、大形弥生氏
*材料が無くなり次第終了となります。

●熱気球 ●ミニ列車 ●ミニ出店 ●人形劇 ●影絵 ●ジャンボ本 ●読み聞かせ

8/23(土)・8/24(日) 「親子で楽しむサマーフェスティバル」

この夏は熊野古道センターへ集合! 親子やお友達みんなで遊びに来て! 楽しいイベントが盛りだくさん! きっとステキな夏休みの思い出ができるはず! 新しいお友達と出会えるチャンスかも!?

午前10時~午後4時

*時間や内容は変更する場合があります。

その他 Guide&Tips

亀の手

東紀州のうまいもの



名前の由来は見た通り「亀の手」に似ているから。大量のコハク酸とミネラルたっぷりの知る人ぞ知る珍しい。適量の水に塩と酒を入れ、3分間茹でるだけ。一般には流通しない隠れた珍味です。貝と海老を足して2で割り、カニの風味をブレンドしたような味!(一年中とれるが6月~8月が旬とされる)

くまのみち叢書7 発売中! 「東熊野路で見られるコケ」

東紀州地域で500~600種が生息するとされているコケの中から、65種類のコケを一冊にまとめました。伊勢市在住の理学博士、山田耕作先生(紀北町出身)解説! お買い求めは当センターカウンターまで。



500円(税込)

和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

新年度がスタートして早いもので、2ヵ月が経ちました。今年は「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて10周年を迎えることもあり、和歌山県世界遺産センターへの世界遺産についてのお問い合わせも増えていきます。当センターが行う参詣道保全活動(道普請)も、今年はずで、38団体が申し込みをされていて、参加団体が昨年を大きく上回ると予想されます。参加される方々は企業・団体・学校関係が中心となりますが、最近では、インターナショナルスクールや海外からの留学生の方に活動していただくことも増えていきます。世界遺産を通して、人々が交流し、文化や価値観の多様性を認識し合うことで、平和をつなげることも世界遺産の大切な役割の一つとらえています。また、当センターでは、世界遺産の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう、7月に第2回世界遺産セミナーを開催いたします。世界遺産に興味・関心のある方のご参加をお待ちしています(参加費は無料です)。参詣道保全活動及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは、和歌山県世界遺産センター(0735-42-1044)までお願いいたします。

平成26年度 第2回世界遺産セミナー(予定)

*日時・内容・会場等につきましては、諸般の事情により変更させていただくこともありますので、ご了承ください。詳細につきましては、和歌山県世界遺産センターまでお問合せ下さい。

第2回 内容 「熊野参詣道と上富田町の王子社」について
講師 大濱 新(和歌山県世界遺産センター)
会場 上富田町岩田公民館・和歌山県西牟婁郡上富田町岩田1756
*参加費は無料

道普請作業の様子



「道普請」とは

文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の修復活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいています。

平成26年4月の道普請参加団体(敬称略)
キャリアール旅行ホテル専門学校、和歌山ターミナルビル世界遺産クラブ、JT(日本たばこ産業株式会社)
お問合せ先 和歌山県世界遺産センター 住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1
TEL:0735-42-1044 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

イベント情報 Event Info.

企画展 1 世界遺産登録10周年記念企画展 「熊野参詣道 伊勢路」
神宮から熊野三山まで二つの聖地を結ぶ伊勢路。折りの道として多くの旅人が歩いた熊野古道の魅力に迫ります。

会期:6月28日(土)~8月31日(日)
時間:午前9時~午後5時
入場料:無料
場所:展示棟企画展示室



伊勢路 (馬越峠の石畳)

企画展 2 世界遺産登録10周年記念企画展 「熊野への道~写真で歩く参詣道」
「紀伊山地の霊場と参詣道」の参詣道に焦点をあて、その文化的景観や自然風景などを写真とパネルで紹介。第2弾となる今回は「参詣道 中辺路」です。

会期:6月28日(土)~8月24日(日)
時間:午前9時~午後5時
入場料:無料
場所:展示棟ロビー



中辺路 (百間くら)

特別展① 6/14(土)~7/13(日) 「熊野市歴史民俗資料館館蔵品展」
同館所蔵の貴重な資料のうち、館長のおすすめを数点展示します。熊野市の歴史や文化、民俗についてご紹介します。

ギャラリートーク
開催日:6月29日(日)
時間:午後1時~
講師:和田利信氏(熊野市立木本小学校教諭)



特別展② 8/2(土)~8/31(日) 「清水千佳子ネイチャーアート展 ~熊野の生きものと仲間たち~」
熊野地方で見られる生き物(動物・鳥・植物)を描いた作品展です。親子でも楽しめる作品が並びます。



8/2(土) 8/16(土) ライヴ・アート 開催!

時間 午前10時~午後3時
入場料 無料
場所 研究収蔵棟特別展示室

講座・講演

6/28(土)、7/19(土)、8/9(土) 講座「熊野比丘尼が絵解く曼荼羅図」
「那智参詣曼荼羅図」「熊野観心十界図」を、熊野比丘尼に扮して絵解き実演します。
時間:午前11時~12時、午後1時~2時
参加料:無料
場所:展示棟ロビー
実演:新宮市観光ガイドの会会員



熊野比丘尼

6/28(土) 連続講演会「古文書から紐解く旅人」
第二回~出稼ぎ先で倒れた旅人たち~
「諸国旅人帳」発刊を記念して、江戸時代後期の尾鷲を通過した巡礼や旅人の足取りなど古文書を紐解きながら講演していただきます。
時間:午後1時30分~3時30分 場所:映像ホール
参加料:無料 講師:家崎彰氏(尾鷲古文書の会会員)
定員:70名(申込不要)



7/6(日) 額富本宏講演会「歴史を刻む熊野古道~大辺路・中辺路そして伊勢路へ~」
熊野古道の歴史を辿りながら、この世の極楽浄土を求めて歩いた旅人や、旅人を支えた住民の思いに迫ります。
時間:午後1時30分~3時
参加料:無料
定員:80名(申込不要)
場所:映像ホール
講師:額富本宏氏(東寺真言宗・実相寺住僧)



7/20(日) 連続講座「油彩で熊野古道を描く」
油彩で熊野古道やその周辺を描く講座を開催します。道具の取り扱いや、制作ポイントなど丁寧に教えていただきます。
開催日:7/20(日)、9/7(日)、12/14(日)、3/1(日)*年間4回
時間:午前10時~午後3時
参加料:2,000円/年間(保険料含む)*材料費別
定員:15名(要申込・先着順)
対象:中学生以上
場所:体験学習室および熊野古道周辺
講師:伊藤清和氏(独立美術協会会員・アトリエイトウ主宰)



体験学習

①7/13(日)「東紀州の四季を味わう料理教室~黒潮の恵みをいただく~」
②7/19(土)「東紀州の四季を味わう料理教室~新鮮たまご夏野菜~」
東紀州の旬の食材や特産品を使った大人気の料理教室です。夏らしいとっておきのレシピをご紹介します。楽しく学んで美味しい! いただきます!
時間:午前10時~午後1時
参加料:2,000円
定員:24人(要申込)*応募者多数の場合は抽選になります。
場所:体験学習室
講師:村林新吾氏(三重県立相可高等学校食物調理科教諭)
受付:どちらも6月13日(金)~7月1日(火)



料理教室の様子

8/30(土) 自然学校「熊野古道の植物を学ぶ~草本・シダ植物編」
熊野古道に自生する植物について理解を深める講座の第2弾「草本・シダ植物編」です。
時間:午前10時~12時
参加料:200円
定員:15名(要申込・先着順)
場所:体験学習室
講師:馬越峠(紀北町) 講師:山本和彦氏(尾鷲市文化財調査委員)



馬越峠のシダ

6/22(日)、7/27(日)、8/24(日) 月別ひのきアート
地元の特産品である尾鷲ヒノキを使ったものづくり教室です。6月は「うらわ、7月は「アクセサリー」、8月は「だるま落とし」をつくります。
時間:午後1時~4時
参加料:1,000円(材料費を含む)
定員:10名(要申込・先着順)
場所:体験学習室
講師:ひのきアート空楽風会員



◇毎週日曜日 あなたも木工作家! その場でできる木工教室
事前申込不要! 来館してその場で気軽に体験することのできる木工教室です。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木のおもちゃづくりなど週替わりで開催します。
時間:午後1時~3時受付
参加料:200円~1,500円(申込不要)
場所:交流棟ロビー
講師:ひのきアート空楽風会員、川端一氏、(週替わり) 大形弥生氏



交流イベント

7/14(月) 新宿トラッドジャズフェスティバル
ソウルフードカフェジャズコンサート
時間:開場 午後6時 開演 午後6時30分
入場料:500円
定員:100名
場所:大ホール
出演:ソウルフードカフェ



熊野古道世界遺産登録10周年記念
9/20(土) 篠まどかさんと熊野古道伊勢路吟行会
俳人・篠まどかさんをゲストにお迎えし、熊野古道馬越峠での吟行会とトークショーを開催します。
時間:午前10時~午後3時
参加料:1,000円(昼食代・保険料を含む)
定員:30名(要申込・先着順)
場所:馬越峠及び、三重県立熊野古道センター
ゲスト:篠まどかさん

参加受付 8/1~スタート!